

4月24日・25日



「わーい！お菓子だ」たねやグループが保育所や高齢者施設などにお菓子のプレゼント

「たねやグループ」が、新型コロナウイルス感染拡大の中、気分が沈みがちな地域の子もたちや高齢者そして施設を支えるスタッフらを励まそうと、市内の保育所や放課後児童クラブ、高齢者施設あわせて61カ所にお菓子をプレゼントしました。

八幡保育所では、カラフルな貝の形をしたもなかのお菓子の思いがけないプレゼントに園児たちは大はしゃぎしていました。

また、上田町の特別養護老人ホームふれあいにも、口溶けがよく高齢者が食べやすい生地を使った和菓子が届けられ、ホームのスタッフからお菓子を受け取った入所者は目を細めていました。



4月19日



岩戸山十三仏千日会 新型コロナの撲滅願って護摩祈祷

聖徳太子が刻んだといわれる^{まがいぶつ}摩崖仏「十三仏」が山頂にある安土町内野地先の岩戸山の登り口で千日会が行われ、新型コロナウイルスの撲滅を願った護摩祈祷が行われました。地元の正實寺と大圓寺の住職らが山伏のほら貝を合図に祈祷を始めると、火柱が上がるなか集まった地元の人たちも手を合わせて一日も早い終息を祈っていました。

4月15日



「学校が再開したら使ってね」島学区まちづくり協議会の「生きがい福祉部会」が手作りの布マスク120枚を島小学校に贈呈しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い予防のためのマスク不足が続く中、島学区まちづくり協議会の「生きがい福祉部会」が手作りの布マスク120枚を島小学校に贈呈しました。島小学校の村地嘉博校長は「学校が再開したときに子どもたちの喜ぶ顔が目に浮かびます」と話していました。

古関裕而さん（NHK朝ドラ「エール」のモデル） 近江八幡で Hammond オルガン演奏会 当時を知る 堀江宏さん（加茂町）に聞く



古関裕而さんの演奏会の思い出を懐かしそうに語る堀江宏さん

本紙4月号の「ふるさと再発見」(第16回)の「近江八幡と古関裕而氏」でもふれましたとおり、現在放送中のNHK朝の連続テレビ小説「エール」の主人公のモデルとなった作曲家・古関裕而さんは、戦後の絶頂期の昭和20年代に、近江八幡市内で Hammond オルガンの演奏会を開いておられました。当時のことをご存知の堀江宏さん(90歳、加茂町)にとっておきのエピソードをお話いただきました。

NHKの朝ドラ「エール」のモデルである作曲家・古関裕而さんが、実は近江八幡に来ておられました！1952年(昭和27年)の夏のことです。当時、私は大学生で、W.M.ヴォーリスさんと一緒にY.M.C.A.や教会で活動しておりまして、そこで古関さんの近江兄弟社学園(現・ヴォーリス学園)での Hammond オルガンの演奏会の開催を知りました。

満員の会場にびっくり

ごく内輪の催しと思っていたのですが、当日、会場となった近江兄弟社学園の教育会館を訪れると満員だったのには驚きました。おそらく当時、「君の名は」が大ヒットしていたからだと思います。ここでお断りしておきたいのは、同名のアニメ映画とは違って、翌年(1953年)に岸恵子・佐田啓二主演で映画化もされた菊田一夫作のNHKの人気ラジオドラマです。「放送される時間は銭湯の女湯が空になった」という



古関さんの演奏会(「湖畔の聲」昭和27年8月号・(公財)近江兄弟社提供)

伝説の番組であり、古関さんはラジオドラマと映画両方の主題歌の作曲や音楽全般を担当しておられました。**多忙を極めていた古関さん**

実のところ「当日になってドタキャンもあるのではないか」と私は考えておりました。と申しますのも戦後の絶頂期にあった古関さんは、数多くの仕事をかけもちしておられたと思いますし、何よりも当時のラジオドラマは、テープレコーダーなど使用しない生放送で、しかも菊田さんの台本が遅く俳優の皆さんはぶつつけ本番でNHKに来ておられたり、当然ながら番組の伴奏は、アドリブで行う離れ業をしなければならぬほど多忙を極めていたと思います。

それでも新幹線のない当時、長距離列車に揺られ東京から来幡いただいたのは、近江兄弟社が輸入販売していた Hammond オルガンを番組で愛用しておられたからだと思えます。NHKで演奏を体験し自宅用にも購入されました。後年、古関さんご自

宅の Hammond オルガンの修理に当時近江兄弟社の社員であった持田和夫さん(博労町元)が上京・訪問し、修理後に古関さんの妻・金子さんにお昼御飯をご馳走になったという逸話も残されています。

ヴォーリスさんと笑顔で握手

演奏会の冒頭、舞台上立った古関さんはあいさつの中で「私は作曲家であり、演奏家ではありません」と断りながらも、ラジオドラマ「鐘の鳴る丘」の主題歌「とんがり帽子」をはじめ「長崎の鐘」、「君の名は」など Hammond オルガンの流麗な調べを次々と披露されました。夢のような演奏会も閉幕にあたり古関さんがオルガンを離れセンターマイクへ進まれたとき、舞台左手からヴォーリスさんが登場され、にこやかな笑顔で握手をされました。歓迎ムードに包まれた会場で古関さんは子どものように紅潮されて、その手を握り返されました。思わず信愛の情を示された瞬間でありました。ヴォーリスさんの人柄は、人に感動を起こさせる神様の愛が詰まっているということを感じながら会場を後にしたのを、昨日のことのように覚えております。



演奏会を開催したヴォーリス氏も愛用していた Hammond オルガン ((学)ヴォーリス学園提供)